



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

東

上場会社名 マルシェ株式会社

上場取引所

コード番号 7524

URL <https://www.marche.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 加藤 洋嗣

問合せ先責任者（役職名） 管理部長

（氏名） 上田 慶太

TEL 06-6624-8100

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

## （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	3,652	6.3	△0	—	△6	—	△6	—
2025年3月期第3四半期	3,436	△4.5	29	△70.3	25	△73.1	26	△62.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△2.52	—
2025年3月期第3四半期	1.13	—

（注）1. 2025年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 2026年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	％	百万円	％	％
2026年3月期第3四半期	3,283	740	22.6		
2025年3月期	3,426	410	12.0		

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 740百万円 2025年3月期 410百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,800	4.8	△13	—	△18	—	△30	—	△5.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	10,550,400株	2025年3月期	8,550,400株
2026年3月期3Q	522,163株	2025年3月期	522,163株
2026年3月期3Q	9,475,510株	2025年3月期3Q	8,028,270株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(A 種種類株式)

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	—	—	80,000.00	80,000.00
2026年 3 月期	—	—	—		
2026年 3 月期(予想)				80,000.00	80,000.00

(注) 上記の A 種種類株式の発行数は290株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
3. 補足情報 .....	7
〔参考〕業態別出退店の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移する一方、海外情勢等に起因した物価上昇等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、個人消費やインバウンド消費は増加の傾向にあるものの、原材料価格・光熱費の上昇や人手不足の影響等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社は当期の重点戦略として

「業態変更の促進」

「新規出店の促進」

「店舗活性化の促進」

の3項目を掲げ、収益基盤の再構築と将来成長に向けた施策を推進してまいりました。

#### ①「業態変更の促進」

当第3四半期累計期間においては、「ハッケン酒場」への業態変更を加速しており、16店舗の業態変更を実施いたしました。当第3四半期会計期間においては、加盟店5店舗の改装の実施に加え、加盟店1店舗を譲受し直営店として業態変更し、店舗の訴求力向上及び顧客層の拡大を図っております。感動していただける焼き鳥の磨き上げとスタッフの行動基準を向上させる事で改装前の売上高前年対比120%を目指してまいります。

#### ②「新規出店の促進」

当第3四半期累計期間においては、「やきとりええねん」及び「ハッケン酒場」を中心に、若年層を主なターゲットとした新規出店を進めております。

当第3四半期累計期間においては、直営5店舗の新規出店を実施し、立地特性や商圈に応じた業態展開を行いました。また、当第4四半期会計期間においては、大阪市に食事領域の業態を新規出店する予定です。詳細が確定次第、当社ホームページ等で開示いたします。

#### ③「店舗活性化の促進」

当第3四半期累計期間においては、全社スローガン「1割アップ」のもと、既存店の売上向上を目的とした各種施策を継続的に実施しております。

当第3四半期会計期間においては、お客様還元施策として飲食代金50%還元フェアを実施したほか、ファミリー層の来店が多い店舗においては、お子様限定の焼鳥食べ放題企画を導入するなど、店舗特性に応じた販売促進施策を行いました。これらの取り組みにより、来店動機の創出と店舗の活性化を図っております。

また、ブランド戦略として、主力業態である「八剣伝」と新興業態である「ハッケン酒場」について、それぞれのブランドアイデンティティを整理・明確化し、業態ごとの価値訴求を強化してまいりました。加えて、10月に商品企画開発部を設立し、SNSを中心とした情報発信体制を強化するとともに、月間1,000件以上の配信を行うなど、デジタル領域を活用した集客基盤の構築を進めております。

このような取り組みを行った結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高は3,652,201千円（前年同期比6.3%増）となりました。一方で、上半期において成長戦略の推進を目的として実施した各種施策の影響に加え、人件費及び物流コストの上昇等が収益を圧迫し、営業損失は900千円（前年同期は営業利益29,242千円）、経常損失は6,076千円（前年同期は経常利益25,656千円）、四半期純損失は6,489千円（前年同期は四半期純利益26,436千円）となりました。

既存事業の改革が喫緊の課題と捉え、八剣伝、ハッケン酒場、マルケンを中心にテンポスグループの新たな発想やチャレンジ精神を取り入れ、改革に邁進してまいります。

【当第3四半期の業績の概況】

	前第3四半期 自 2024年4月1日 至 2024年12月31日	当第3四半期 自 2025年4月1日 至 2025年12月31日	対前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高 (百万円)	3,436	3,652	216	6.3
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	29	△0	△30	—
経常利益又は経常損失 (△) (百万円)	25	△6	△31	—
四半期純利益又は四半期純損失 (△) (百万円)	26	△6	△32	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失 (△)	1円13銭	△2円52銭	△3円65銭	—

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産、負債、純資産及び自己資本比率の状況は下記の通りとなります。

(単位：百万円)

	2025年3月期末	当第3四半期末	増減
資 産	3,426	3,283	△143
負 債	3,016	2,542	△474
純 資 産	410	740	330
自己資本比率 (%)	12.0	22.6	10.6

当第3四半期会計期間におきましては、現金及び預金335,697千円の減少、売掛金45,797千円の増加、固定資産86,951千円の増加等により、総資産が前事業年度末に比べ143,835千円減少し、3,283,097千円となりました。

負債は、主に買掛金226,351千円の増加、借入金699,930千円の減少等により、前事業年度末に比べ474,101千円減少し、2,542,747千円となりました。

純資産は、主に資本剰余金354,000千円の増加、配当金の支払23,200千円等により330,265千円増加し、740,349千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,116,357	1,780,660
売掛金	292,320	338,117
商品及び製品	58,233	64,224
原材料及び貯蔵品	23,145	29,161
未収入金	52,687	96,845
その他	45,419	48,679
貸倒引当金	△4,570	△4,883
流動資産合計	2,583,592	2,352,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	195,528	265,353
土地	149,366	149,366
その他（純額）	34,627	41,665
有形固定資産合計	379,521	456,385
無形固定資産	58,483	44,532
投資その他の資産		
差入保証金	300,679	308,640
その他	126,868	139,400
貸倒引当金	△22,212	△18,665
投資その他の資産合計	405,335	429,375
固定資産合計	843,340	930,292
資産合計	3,426,932	3,283,097
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,914	448,266
短期借入金	1,612,006	989,846
1年内返済予定の長期借入金	45,000	123,731
賞与引当金	17,253	7,969
資産除去債務	7,301	4,500
その他	316,609	363,081
流動負債合計	2,220,084	1,937,394
固定負債		
長期借入金	356,501	200,000
資産除去債務	97,733	102,852
その他	342,529	302,500
固定負債合計	796,764	605,353
負債合計	3,016,848	2,542,747

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	699,573	1,053,573
利益剰余金	46,667	16,977
自己株式	△453,393	△453,393
株主資本合計	392,848	717,158
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,235	23,191
評価・換算差額等合計	17,235	23,191
純資産合計	410,083	740,349
負債純資産合計	3,426,932	3,283,097



(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,436,100	3,652,201
売上原価	1,341,246	1,434,534
売上総利益	2,094,853	2,217,666
販売費及び一般管理費	2,065,610	2,218,566
営業利益又は営業損失(△)	29,242	△900
営業外収益		
受取利息	731	1,877
受取配当金	837	1,161
受取家賃	7,380	7,380
賃貸収入	3,838	3,592
受取保険金	4,642	179
その他	5,425	7,552
営業外収益合計	22,855	21,742
営業外費用		
支払利息	25,949	21,859
損害賠償金	205	78
株式交付費	-	4,242
その他	286	737
営業外費用合計	26,441	26,918
経常利益又は経常損失(△)	25,656	△6,076
特別利益		
固定資産売却益	7,381	3,108
資産除去債務戻入益	1,392	698
特別利益合計	8,774	3,807
特別損失		
固定資産除却損	30	233
賃貸借契約解約損	1,760	-
特別損失合計	1,790	233
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	32,640	△2,502
法人税等	6,204	3,987
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,436	△6,489

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月16日を払込期日とする第三者割当による新株式発行に伴い、発行済株式数（普通株式）が2,000,000株増加し、資本金及び資本準備金はそれぞれ177,000千円増加しております。

また、当社は、2025年6月22日開催の株主総会にて、減資を行うことを決議し、2025年7月31日付で第三者割当により増加した資本金及び資本準備金の額を減少し、全額をその他資本剰余金に振り替えております。その結果、当第3四半期会計期間末において、資本金100,000千円及び資本剰余金1,053,573千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	48,290千円	55,090千円

3. 補足情報

〔参考〕業態別出退店の状況

		前事業年度					当第3四半期				
		自 2024年4月1日					自 2025年4月1日				
		至 2025年3月31日					至 2025年12月31日				
		期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	増減数	期首 店舗数	出店数	退店数	期末店舗数	増減数
直営店	酔虎伝	4	-	1	3	△1	3	-	-	3	-
	八剣伝	36	5	-	41	5	41	3	-	44	3
	居心伝	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	串まん	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-
	八右衛門	2	-	-	2	-	2	-	1	1	△1
	焼そばセンター	2	1	-	3	1	3	-	-	3	-
	マルケン	21	-	1	20	△1	20	1	-	21	1
	その他	6	3	4	5	△1	5	2	-	7	2
小計		73	9	6	76	3	76	6	1	81	5
FC加盟店	酔虎伝	9	-	-	9	-	9	-	-	9	-
	八剣伝	183	1	14	170	△13	170	2	9	163	△7
	居心伝	7	-	-	7	-	7	-	1	6	△1
	その他	17	1	5	13	△4	13	2	4	11	△2
小計		216	2	19	199	△17	199	4	14	189	△10
合計		289	11	25	275	△14	275	10	15	270	△5